

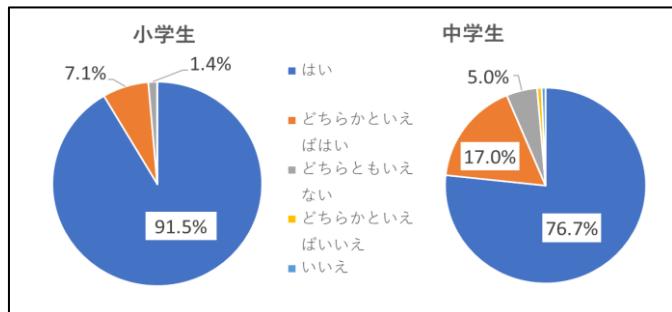
G I G Aスクール構想の推進を始めています！

Global and Innovation Gateway for All～子供たち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境を～

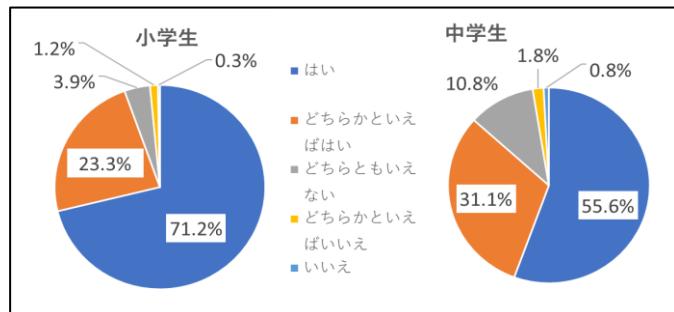
前回、各学校で活用している様子を紹介しました。今回は、6月に実施したタブレットの活用についてのアンケート結果から、子どもたちが「タブレットの学習」をどのように受け止めているかをお知らせします。
 (アンケート対象：小学校5・6年生660名、中学校1・2・3年生966名)



◆タブレットを使った学習は楽しい

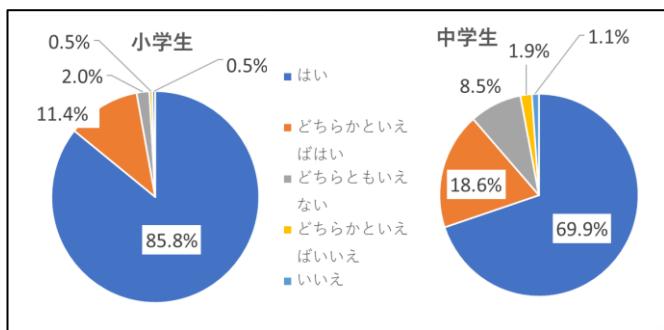


◆タブレットを使った学習は分かりやすい

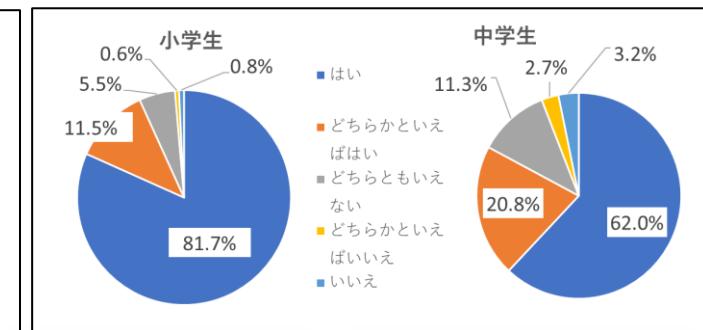


小学生は9割以上、中学生も8割近くが「楽しい」と答えており、多くの児童生徒が肯定的に受け止めています。しかし、「分かりやすい」と答えた児童は7割、中学生は5割強であり、タブレットの活用が学びの充実につなげていくのはこれからの課題です。

◆授業でもっと使いたい



◆授業以外でも使いたい



子どもたちは、タブレットの活用を望んでいます。しかし、それが「タブレットへの興味」で終わるのではなく、「タブレットを使った学びへの興味」にしていかなければなりません。



【係りの活動で活用】

【朝の時間にタイピング練習】



【先生たちを対象とした活用研修会】

昨年2月、小学校に初めて1クラス分のタブレットが入りました。そして今年の3月、一気に一人一台タブレットが配備されました。この急激な変化に戸惑いながらも先生たちは研修を行い、有効な活用方法について、学んでいます。夏休みも研修会があります。大洲市の先生たち、頑張っています。

※ 次回は、今後の取り組みとして、家庭への持ち帰りについて紹介します。

大洲市教育委員会